

第24回造血器腫瘍研究会プログラム

1日目：令和2年1月31日（金）12：25～18：45

2日目：令和2年2月1日（土）8：45～16：25

会場：神戸臨床研究情報センター（TRI）2F

住所：神戸市中央区港島南町1丁目5番地4号

世話人：東京大学医科学研究所 北村俊雄

事務局

第24回造血器腫瘍研究会事務局

〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター

細胞療法分野内

TEL 03-5449-5758

FAX 03-5449-5760

E-mail: kitamura@ims.u-tokyo.ac.jp

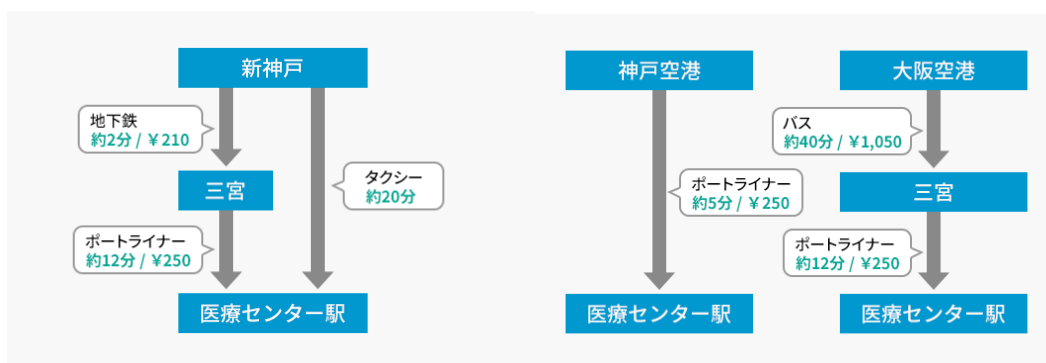
naokoh@ims.u-tokyo.ac.jp

会場へのアクセス

※先端医療センターとは逆の方向に進んでください。(改札出て右手です。)

●電車でお越しの方へ

●飛行機でお越しの方へ



●車でお越しの方へ



駐車場のご案内

有料駐車場へは、先端医療センター南側・正面玄関ロータリーからお入り下さい。

■■駐車料金■1時間 150 円(上限 1500 円、病院受診の場合 1000 円)

発表用 PC

原則として、ご自分の PC を持ち込んでください。

発表のセッションの前の休憩時間に、試写をお願いします。

発表時間

発表時間は 12 分、質疑は 3 分です。

参加費

1,000 円

懇親会 (19:30~22:00)

神戸ポートピアホテル 本館 30F

スカイグリルbuffet GOCOCU

5,000 円

【1日目】

●12:25～12:30 開会の挨拶 北村 俊雄

●MDS/AML/MPN (座長：松井 啓隆・本田 浩章) (12:30～14:00)

1. 骨髄異形成症候群では骨髄間質細胞の骨芽細胞分化障害により正常造血が抑制される

林康貴(はやし やすたか)^{1,2}、川畑公人^{2,3}、上原康史⁴、田中洋介¹、桐生茂⁵、大田泰徳⁶、馬渕洋⁷、國崎祐哉⁴、合山進²、新井文用⁴、井上大地¹、北村俊雄²
(¹神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター血液・腫瘍研究部、²東京大学医科学研究所細胞療法分野、³コーネル大学血液腫瘍内科、⁴九州大学医学研究院幹細胞修復再生医学分野、⁵東京大学医科学研究所附属病院放射線科、⁶東京大学医科学研究所附属病院病理部、⁷東京医科歯科大学分子生命情報解析学分野)

2. 新規デシタビンプロドラッグ OR21 はCDA耐性を獲得し、経口吸収性を獲得しMDS, AMLに抗腫瘍効果を持つ

嬉野 博志(うれしの ひろし)^{1,2}、渡邊 達郎¹、蒲池和晴^{1,2}、倉橋祐樹¹、通山 薫³、岡田 誠治⁴、原田 浩徳⁵、牛島 俊和⁶、木村 晋也^{1,2}
(¹佐賀大・医・創薬科学、²佐賀大・医・血液腫瘍、³川崎医大・検査診断学、⁴熊本大・ヒトレトロウイルス研究セ、⁵東京薬科大・腫瘍医学、⁶国立がん研セ・エピゲノム解析部門)

3. DDX41機能異常が招く白血病発症のメカニズムの検証

神力悟¹(しんりき さとる)、金井昭教²、長町安希子²、稲葉俊哉²、松井啓隆¹
(¹熊本大学大学院生命科学研究部臨床病態解析学講座、²広島大学原爆放射線医科学研究所がん分子病態研究分野)

4. 忠実度の高いヒト高リスクMDS/AMLモデルの構築

國本博義(くにもと ひろよし)¹、村上紘一²、池田順治³、寺中寛¹、加藤生真⁴、宮崎拓也¹、江中牧子⁴、三ツ橋雄之⁵、山崎悦子⁶、亀山香織⁷、村田満⁵、岡本真一郎⁸、中島秀明¹
(¹横浜市立大学 血液・免疫・感染症内科、²横浜市立大学 免疫学、³横浜市立大学 小児科、⁴横浜市立大学 分子病理学、⁵慶應義塾大学 臨床検査医学、⁶横浜市立大学 臨床検査部、⁷慶應義塾大学 病理診断部、⁸慶應義塾大学 血液内科)

5. CALR変異陽性MPNの造血におけるCALR機能不全の意義

幣光太郎¹(しで こうたろう)、亀田 拓郎¹、上運天 綾子¹、大園 芳範¹、尾野 雅哉²、横溝 貴子³、久保田 翔³、田平 優貴¹、指田 吾郎³、下田 和哉¹
(¹宮崎大学医学部内科学講座消化器血液学分野、²国立がん研究センター研究所、³熊本大学国際先端医学研究機構)

6. NPMc は如何にして白血病を誘導するのか
北林一生 (きたばやし いっせい)、相川祐規子、山形和恒
(国立がん研究センター研究所造血器腫瘍研究分野)

●14:00~14:15 休憩

●免疫・シグナル伝達 (座長: 中村 卓郎・横山 明彦) (14:15~16:40 途中 10 分休憩)

7. T 細胞活性化リガンド蛋白搭載新規 RNA ウイルスベクターによる遠隔部位を含めた強力な抗腫瘍効果

野阪哲哉 (のさか てつや)^{1,2}、大塚順平^{1,2,3}、福村正之^{1,2,3}

(¹三重大学大学院医学系研究科 感染症制御医学・分子遺伝学、²三重大学卓越型研究施設 次世代型 VLP ワクチン研究開発センター、³バイオコモ (株))

8. 治療抵抗性骨髄腫における免疫調節薬の PD-L1 を介する腫瘍免疫抑制メカニズム

石橋真理子 (いしばし まりこ)¹、田村秀人²、森田林平¹、猪口孝一²

(¹日本医科大学微生物学・免疫学、²日本医科大学血液内科)

9. 抗 PD-L1 抗体とイマチニブとの併用による慢性骨髄性白血病幹細胞の駆逐効果の検討

田中洋介 (たなか ようすけ)、安達景都、福島剛、合山進、北村俊雄
(東京大学医科学研究所 細胞療法分野)

10. CML 幹細胞におけるアダプター蛋白 STAP-1 (signal-transducing adaptor protein-1) の役割

戸田淳 (とだ じゅん)¹、一井倫子¹、西東秀晃¹、松田正²、織谷健司³、柴山浩彦¹、金倉譲^{1,4}

(¹大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科、²北海道大学大学院 薬学研究院衛生科学研究室、³国際医療福祉大学大学院 血液内科学、⁴住友病院)

小休止 (15:15~15:25)

11. CTCF によるヒト造血幹細胞の静止期離脱機構の解明

Naoya Takayama^{1,2}, Alex Murison², Shin-ichiro Takayanagi^{2,3}, Alejandra Kanashiro¹, Christopher Arlidge², Stanley Zhou^{2,4}, Laura Garcia Prat², Nadia Penrod², Sasan Zandi², Olga Gan², Hélène Boutzen², Kerstin B. Kaufmann², Aaron Trotman-Grant², Erwin Schoof², Koji Eto¹, Stephanie Z. Xie², John E. Dick², Mathieu Lupien^{2,4}

(¹ Department of Regenerative Medicine, Chiba University Graduate School of Medicine, Chiba, 260-8670, Japan ² Princess Margaret Cancer Centre, University Health Network, Toronto, Ontario, M5G0A3, Canada ³ R&D Division, Kyowa Hakko Kirin Co., Ltd., Tokyo, 294-8533, Japan ⁴ Department of Medical Biophysics, University of Toronto, Toronto, Ontario, M5G2L7, Canada)

12. Samd9/L とその変異体の造血への影響と分子メカニズム

長町安希子 (ながまち あきこ)¹、松井啓隆²、神力悟²、金井昭教¹、稲葉俊哉¹
(¹ 広島大学原爆放射線医科学研究所 がん分子病態研究分野、² 熊本大学大学院生命科学研究部 臨床病態解析学分野)

13. ヒストン脱メチル化酵素 KDM2B は分化細胞からの Wnt10b/ β -Catenin シグナルを介して白血病幹細胞機能維持に寄与する

中田雄一郎 (なかた ゆういちろう)¹、上田健²、金井昭教³、山崎憲政¹、世良康如⁴、須田年生⁵、田久保圭誉⁶、本田浩章⁴

(¹ 広島大学 原爆放射線医科学研究所 疾患モデル解析研究分野、² 近畿大学 医学部 生化学教室、³ 広島大学 原爆放射線医科学研究所 がん分子病態研究分野、⁴ 東京女子医科 医学部 疾患モデル研究分野、⁵ Cancer Science Institute of Singapore, National University of Singapore Center for Translational Medicine、⁶ 国立国際医療研究センター研究所 生体恒常性プロジェクト)

14. 変異型 ASXL1 の白血病原性は CDK によるリン酸化により制御される

浅田修平 (あさだ しゅうへい)^{1,2}、合山進²、竹田玲奈²、山本圭太²、秦(小塚)裕子³、尾山正明³、井上大地⁴、本田浩章¹、北村俊雄^{2,4}

(¹ 東京女子医科大学 実験動物研究所、² 東京大学医科学研究所 細胞療法分野、³ 東京大学医科学研究所 疾患蛋白質工学分野、⁴ 神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター 血液・腫瘍研究部)

15. 造血器悪性腫瘍における RUNX カテゴリーに適応される CROX (Cluster Regulation of RUNX) 戦略の構築

上久保靖彦 (かみくぼやすひこ)

(京都大学大学院医学研究科ビッグデータ医科学部門)

●16:40~17:00 休憩

●エピジェネティクス (座長: 岩間 厚志・黒川 峰夫) (17:00~18:45)

16. ヒストン H3K27 脱メチル化酵素 UTX の機能不全は多発性骨髄腫の発症を誘導する

小出周平 (こいで しゅうへい)¹、Ola Rizq²、三村 尚也^{3,4}、本田浩章⁵、岩間 厚志¹

(¹ 東京大学医科学研究所 幹細胞分子医学、² 千葉大学大学院医学研究院 細胞分子医学、³ 千葉大学附属病院 輸血部、⁴ 千葉大学附属病院 血液内科、⁵ 東京女子医大先端 生命医学専攻 疾患モデル研究分野)

17. DUX 4 融合遺伝子陽性 B 細胞性急性リンパ性白血病におけるクロマチン構造変化の解析

田中庸介 (たなか ようすけ)¹、河津正人¹、宇野稔章²、井上聡¹、小島慎也¹、上野敏秀¹、田村萌³、合山進³、北村俊雄³、森下真一²、間野博行¹
(¹国立がん研究センター研究所 細胞情報学分野、²東京大学新領域創成科学研究科 メディカル情報生命、³東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 細胞療法分野)

18. ストレス造血における HMGA2 クロマチン制御機構の解明

孫宇奇¹、久保田翔¹、白潔¹、横溝貴子¹、梅本晃正²、荒木喜美^{3,4}、大里元美⁵、指田吾郎 (さしだ ごろう)¹

(¹熊本大学 IRCMS 白血病転写制御学、²熊本大学 IRCMS 造血幹細胞工学、³熊本大学 生命資源研究支援 疾患モデル、⁴熊本大学 健康長寿代謝制御研究センター、シンガポール国立大学)

19. 白血病がん遺伝子産物が CpG リッチなプロモーターを活性化するメカニズム

横山明彦¹ (よこやま あきひこ)、宮本亮¹、奥田博史¹、金井昭教²、高橋慧¹、北林一生¹、稲葉俊哉²

(¹国立がん研究センター、²広島大学原爆放射線医科学研究所 がん分子病態研究分野)

20. HOXA9 と MYC を基軸とした MLL 白血病の分子機構

宮本亮¹ (みやもと りょう)、奥田博史¹、高橋慧¹、金井昭教²、稲葉俊哉²、横山明彦¹

(¹国立がん研究センター、²広島大学原爆放射線医科学研究所 がん分子病態研究分野)

21. クロマチンリモデリング因子研究におけるラブドイド腫瘍細胞株の有用性

栗原康通 (くわはら やすみち)、忠垣憲次郎、山崎健太、吉田達士、近藤則子、奥田 司
(京都府立医科大学 分子生化学)

22. 樹状細胞分化における三次元クロマチン高次構造動態解析

黒滝大翼 (くろたき だいすけ)¹、Pedro P. Rocha²、Kairong Cui³、中林潤⁴、川瀬航¹、原田生起¹、佐伯恵太⁵、Keji Zhao³、Keiko Ozato⁵、田村智彦^{1,4}

(¹横浜市立大学大学院医学研究科 免疫学、²Division of Developmental Biology, NICHD, NIH、³Laboratory of Epigenome Biology, NHLBI, NIH、⁴横浜市立大学 先端医科学研究センター、⁵Section on Molecular Genetics of Immunity, NICHD, NIH)

●19:30～ 懇親会

神戸ポートピアホテル 本館 30F スカイグリルブッフェ GOCOCU

乾杯

フルート・ピアノ 2重奏 (ピアノは血液研究者) 20:00~20:10

バイオリン・ピアノ 2重奏 (バイオリンは血液研究者) 20:20~20:40

Negative Selection (研究会関係者 5名も参加) 20分 21:10~21:30

【2日目】

●転写因子（座長：田村 智彦・井上 大地）（8:45～10:30）

23. レポーターマウスを用いた3番染色体逆位を伴う白血病の発症機構の解析
鈴木未来子（すずき みきこ）¹、山岡彩香²、織原大貴²、片山紗乙莉²、山本雅之²（¹東北大学大学院 医学系研究科 ラジオアイソトープセンター、²東北大学大学院 医学系研究科 医化学分野）

24. Quantitative and qualitative impairments in GATA2 and myeloid neoplasms

長谷川敦史、藤田優城、竹中佑太、保坂優奈、平野育生、清水律子（しみず りつこ）（東北大学大学院医学系研究科 分子血液学分野）

25. 転写制御因子 TIF1 β による BCR-ABL 陽性白血病の病態進展機構

森井真理子（もりい まりこ）¹、久保田翔¹、横溝貴子¹、荒木喜美^{2,3}、指田吾郎¹

（¹熊本大学 IRCMS 白血病転写制御学、²熊本大学 生命資源研究支援 疾患モデル、³熊本大学 健康長寿代謝制御研究センター）

26. 新規 3'遠位エンハンサーによる *Irf8* 遺伝子発現及び単核貪食細胞分化の制御

村上紘一（むらかみ こういち）¹、佐々木悠²、西山晃²、黒滝大翼²、川瀬航²、関田洋一³、中島秀明⁴、木村透³、田村智彦^{1,2}（¹横浜市立大学 先端医科学研究センター、²横浜市立大学大学院医学研究科 免疫学、³北里大学理学部 幹細胞学講座、⁴横浜市立大学大学院医学研究科 幹細胞免疫制御内科学）

27. FOXO による白血病細胞分化制御機構の解明

倉吉健太（くらよしけんた）、上野将也、高瀬雄介、布施香子、大田久美子、田所優子、平尾敦（金沢大学がん進展制御研究所 遺伝子染色体構築研究分野）

28. BCL11A による PU.1 機能阻害

角南義孝（すなみ よしたか）¹、芳野聖子¹、横山隆志²、中村卓郎¹（¹公益財団法人がん研究会がん研究所発がん研究部、²奈良先端研）

29. CGRP-CRLR 情報伝達におけるストレス造血と EVI1 高発現白血病への関与

末金彰、市川朝永、齋藤祐介、中畑新吾、森下和広（もりした かずひろ）

（宮崎大学医学部機能制御学講座腫瘍生化学分野）

●10:30～10:45 休憩

●Evi1・スプライシング（座長：中島 秀明）（10:45～11:45）

30. マイナーイントロンの異常を介した新しい造血器腫瘍のメカニズム
小林漸、福井智恵、林康貴、井上大地 (いのうえ だいち)
(神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター血液・腫瘍研究部)
31. SF3B1 変異と inv(3) の急性白血病における協調メカニズム
田中淳 (たなか あつし)、福井智恵、林康貴、井上大地
(神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター血液・腫瘍研究部)
32. FBP1 は糖代謝の変容を介して EVI1 高発現白血病の進展に寄与する
水野秀明 (みずのひであき)¹、籠谷勇紀¹、古屋淳史²、正本庸介¹、黒川峰夫¹
(¹ 東京大学大学院医学系研究科 血液腫瘍病態学、² 国立がん研究センター分子腫瘍学分野)
33. EVI1 は白血病代謝リプログラミングを制御する
齋藤祐介 (さいとう ゆうすけ)¹、松尾英将²、足立壮一²、多賀崇³、富澤大介⁴、大里元美⁵、曾我朋義⁶、森下和広⁷、盛武浩¹
(¹ 宮崎大学 小児科、² 京都大学 人間健康科学系専攻医療検査展開学講座、³ 滋賀医科大学 小児科、⁴ 国立成育医療研究センター小児がんセンター、⁵ 熊本大学 国際先端医学研究機構、⁶ 慶應義塾大学先端生命科学研究所、⁷ 宮崎大学 腫瘍生化学分野)
- 12:00~12:50 ランチョンセミナー
腫瘍免疫の基礎と臨床—汎用性 T 細胞製剤の開発—
河本 宏 (京都大学ウイルス・再生医科学研究所) (座長: 石井 健)
- 12:50~13:00 休憩
- 新規治療標的・治療法/診断法の開発 (座長: 稲葉 俊哉・合山 進) (13:00~14:30)
34. Trib1 によるエンハンサーリプログラミングと、PROTAC を用いた Trib1 に対する治療法開発
芳野聖子 (よしの せいこ)¹、角南義孝¹、横山隆志²、中村卓郎¹
(¹ 公益財団法人がん研究会がん研究所発がん研究部、² 奈良先端研)
35. 合成致死性を利用したモノソミー7 白血病に対する新規治療標的の検討
松田健佑 (まつだ けんすけ)、籠谷勇紀、山崎翔、宮内将、黒川峰夫
(東京大学大学院医学系研究科 血液腫瘍病態学)
36. Precision medicine and novel molecular target therapies in AML: Hematologic Malignancies (HM)-SCREEN-Japan 01
南陽介 (みなみ ようすけ)、宮本憲一、山内寛彦、湯田淳一郎
(国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科)

37. 慢性骨髄性白血病に対する脱メチル化剤およびTKIとの併用効果

蒲池和晴(かまち かずはる)^{1,2}、嬉野博志^{1,2}、倉橋祐樹^{1,3}、吉田奈央¹、
渡邊達郎¹、木村晋也^{1,2}

(¹佐賀大学医学部 創薬科学講座、²佐賀大学医学部 血液腫瘍内科、³大原薬品工業株式会社)

38. 成人T細胞白血病・リンパ腫におけるDNAメチル化異常の治療標的としての可能性

渡邊達郎(わたなべ たつろう)¹、吉田奈央¹、嬉野博志¹、蒲池和晴^{1,2}、倉橋祐樹^{1,3}、
倉橋佑紀^{1,3}、山下聡⁴、岡田誠治⁵、牛島俊和⁴、末岡榮三朗⁶、木村晋也^{1,2}

(¹佐賀大学 医学部 創薬科学講座、²佐賀大学 医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科、³大原薬品工業株式会社、⁴国立がん研究センター研究所 エピゲノム解析分野、⁵ヒトレトロウイルス学共同研究センター 造血・腫瘍制御学分野、⁶佐賀大学 医学部 臨床検査医学講座)

39. Analysis of serum cell free DNA in multiple myeloma with overexpression of MAF

立田卓登(たちた たくと)¹、李政樹¹、青木奨¹、浅野有彩¹、金森貴之¹、戸谷治仁¹、
木下史緒理¹、正木彩子²、伊藤旭¹、楠本茂¹、小松弘和¹、飯田真介¹

(¹名古屋市立大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学、²名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床病態病理学)

●14:30~14:45 休憩

●阻害剤/がん遺伝子変異 (座長：千葉 滋・平尾 敦) (14:45~16:15)

40. 発がん遺伝子における複数変異の全体像とその臨床的・生物学的意義

斎藤優樹^{1,2}、古屋淳史¹、木暮泰寛¹、新垣清登¹、田畑真梨子^{1,3}、Marni B. McClure¹、
片岡圭亮(かたおか けいすけ)¹

(¹国立がん研究センター研究所 分子腫瘍学分野、²慶應義塾大学医学部 消化器内科、³東京大学医学部 泌尿器科)

41. PAI-1 阻害剤による白血病幹細胞の治療高感受性化

八幡 崇(やはた たかし)¹、アブドゥル アジズ¹、宮田敏男²、安藤 潔¹

(¹東海大学医学部再生医学センター、²東北大学大学院分子病態治療学)

42. 新規 SWI/SNF 複合体の機能喪失に基づく MDS 発症機構の解明と治療応用

肖慕然(しょう もうぜん)、林康貴、井上大地

(神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター血液・腫瘍研究部)

43. p53 欠失骨髄系腫瘍細胞のデシタビンへの感受性は p53 の発現を抑制する時期によって異なる

田村萌(たむら もえ)、米澤大志、劉瀟瀟、浅田修平、林康貴、福山朋房、
田中洋介、北村俊雄、合山進

(東京大学医科学研究所 細胞療法分野)

44. BET 阻害剤耐性 MLL 白血病細胞株の性状解析および耐性克服を目指した
CDK4/6 阻害剤 Abemaciclib の有用性の評価

甘利圭悟 (あまり けいご)¹、今吉菜月¹、佐野友亮¹、杉山雄輝¹、友金眞光¹、若林亮介¹、戸田侑紀¹、細木誠之¹、今村俊彦²、芦原英司¹

(¹ 京都薬科大学 病態生理学分野、² 京都府立医科大学 小児科学教室)

45. スタウロスポリンはカスパーズによる MEF2D 融合蛋白切断と MEF2D 融合遺伝子陽性 ALL 選択的な細胞死を誘導する

丹下 直幸 (たんげ なおゆき)¹、早川 文彦²、安田 貴彦³、山本 秀行¹、平野 大希¹、都築 忍⁴、清井 仁¹

(¹ 名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学、² 名古屋大学大学院医学系研究科 病態解析学講座、³ 名古屋医療センター臨床研究センター、⁴ 愛知医科大学大学生化学講座)

●16:15~16:25 閉会の挨拶 北林 一生
時期会長の挨拶